

## 式 辞

この度、中国学園大学・大学院・中国短期大学・専攻科を卒業・修了される皆さんに一言お祝いの言葉をお送りします。

卒業生ならびに修了生諸君におかれましては、中国学園における研鑽の成果が、本日、皆さんの履歴に刻印されることとなります。誠にお目出度いことであり、学園を代表して心からお祝いを申し上げます。併せて、今日まで様々な修学支援をしていただいたご家族ならびに関係各位にお慶びと御礼を申し上げます。

皆さんは、本日を期して、これまで慣れ親しんだ教育機関から離れ、実社会に身を置くこととなります。実社会は、学校世界とは質的に全く異なります。学校では、教育というシステムの中でさまざまな支援を受けながら、いわば、受動的に研鑽を行ってこられたといっても過言ではないでしょう。

しかし、実社会には、このような支援システムはありません。さらに、皆さんは、これから学校に在籍したより遙かに長い時間をこの世界で過ごされることとなります。このような社会で、充実した人生を形作るためには、他に依存しない自己の確立と社会の発展に主体的に関わろうとする意思が必須となります。

今年度は、思いもかけなかった新型コロナウイルス感染症が蔓延し、社会が大混乱しました。その中、本学は他大学とは異なり、本来の教育形態である対面教育を可能な限り実施し、影響を最小限に止めたつもりです。でも、皆さんには何かと不安、不便があったであろうと察しています。しかし、今回のコロナ禍に類することはそんなに稀なことではありません。皆さんのこれからの人生にはこのようなことがいろいろ起こると考えておかねばなりません。

我が国は、これまでも、明治維新と太平洋戦争後の復興という、世界史にも例を見ない回天事業を成功させてきました。その大きな要因は、日本人が歴史的に培い、日本人と日本社会に深く根付いた高度の科学性と深い精神性をもった人材が存在したからだと考えています。

これからも我が国や世界には新たな試練が次々と惹起してきます。大学・短期大学は、このような社会の様々な課題を解決するための人材育成を目的する社会的公器であると考えています。そこで研鑽を積まれた皆さんには、個人を超えた公的な使命があることを自覚しておいて欲しいと願っています。

中国学園に学ばれた皆さんは、まず本学で身につけられた専門分野の知見を活かし社会の発展に寄与して下さい。そして、何時の時にも、本学の学是である「自律創世」を体して行動し、次の日本や世界を担う人間として成長され、社会において高い評価を受けられることを期待して止みません。以上、私からの饒の言葉とします。

令和3年3月19日  
中国学園大学・中国短期大学  
学長 千葉 喬三